

第 25 回日本褥瘡学会学術集会

シンポジウム 5

『コロナが褥瘡管理をどう変えたのか ～after コロナの課題: 病院編～』

日 時： 9 月 2 日(土) 8:40-10:10 (90 分)
会 場： 第 1 会場：神戸国際展示場 2 号館 1F コンベンションホール
司 会： 辻 依子 先生(神戸大学大学院医学研究科 形成外科学分野足病医学部門)
大竹和歌子 先生(茨城西南医療センター病院 看護部)

演題番号	演者氏名 (敬称略)	所属	演題名	発表 時間	討論 時間
S5-1	安藤 嘉子	大阪赤十字病院 看護部	コロナで変わったこと、変わるべきことから考える 褥瘡管理	10 分	40 分
S5-2	佐々木 貴代	日本赤十字社医療センター 看護部	after コロナの褥瘡管理における教育方法の検討	10 分	
S5-3	石井 光子	石川県立看護大学 キャリア支援室	COVID-19 による褥瘡管理の変化と課題	10 分	
S5-4	山崎 祐子	島根大学医学部附属病院 看護部 手術部・麻酔科外来	コロナによるマンパワー不足下の術中褥瘡対策	10 分	
S5-5	後藤 孝浩	宮城県立がんセンター 褥瘡予防対策委員会	緩和ケア病棟を感染症病棟に変更したことによる褥 瘡発生状況の変化	10 分	